

特集 河川敷で探してみよう！冬の生き物たち

トピックス

- かつての交通の要衝『神崎』
- 第19回 猪名川クリーン作戦

活動報告

- 防災パネル展示
- 防災学習出前講座・WEB(池田小学校)
- 伊丹市生物多様性交流フェスティバル



地面近くの巣



使い終わった古い巣

■カヤネズミの巣
カヤネズミは草地に住む日本最小のネズミです。冬の間は、枯れ残った葉を編んで地面に近いところに巣を作っています。使い終わった古い巣を見つけました。豆科のサヤで飾り立てられているのは珍しいです。



コサギ



カルガモ



ヒドリガモ

■水辺に集まる鳥
冬に見られる生き物といえば、「鳥」です。猪名川の水辺や河川敷には、カモやサギの仲間など、色々な鳥が集まります。集団で食べ物を探していることも多く、観察しやすいです。

特集

河川敷で探してみよう！冬の生き物たち

冬は草木が枯れ、寒さで生き物の活動が少なくなる時期です。そんな中でも、河川敷を歩くと、様々な生き物の気配を感じることが出来ます。冬の間には観察できる生き物を紹介します。



佐藤河川レンジャー



ホシハラビロヘリカメムシ



モズのはやにえ

■カメムシの仲間
カメムシの多くは成虫で冬を越します。冬眠をせず、暖かい日には歩き回る姿が見られます。時にはモズに捕えられ、冬の保存食として「はやにえ」にされてしまうことも。冬枯れの中、緑のカメムシがアクセサリのように鮮やかです。

■色々なカタツムリ
冬は土の中に生き物が潜んでいます。冬眠中のカタツムリを見つけてきました。植物の根が張り、朽ちて肥沃な土壌となり、良い生息環境になっているようです。



ヒメボタル



ヒメボタルの幼虫

■ヒメボタルの幼虫
ヒメボタルは森林や河川敷に生息する陸生のホタルです。幼虫の姿で越冬し、土の中で小さなカタツムリなどを食べて過ごします。5月頃、猪名川の下流から中流域でヒメボタルが舞う姿が見られます。小さなホタルですが、フラッシュのように強く光りながら飛翔します。

(文：佐藤河川レンジャー)

トピックス

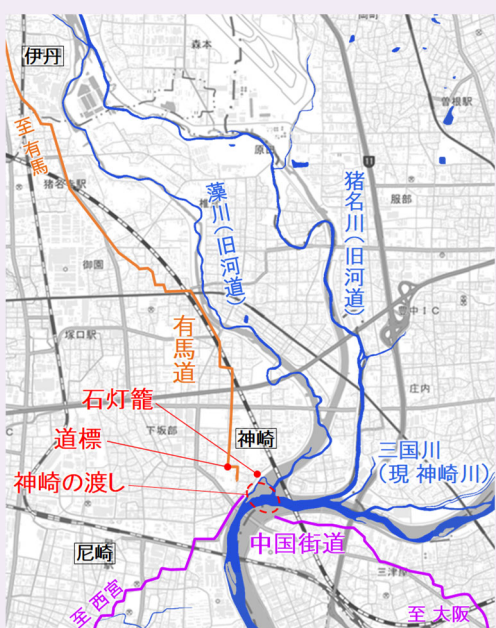
かつての交通の要衝『神崎』

大阪側から有馬に向かう有馬道の起点とされる『神崎』について紹介します(有馬道は、有馬街道とも呼ばれます。西宮、神戸を起点とする有馬道も存在します)。

神崎は、猪名川と神崎川の合流点付近の右岸側に位置します。大坂と西宮を結ぶ中国街道にあり、神崎の渡しの西側に栄えた宿場町です。数々の古文書に水運、陸運の重要地点として記されています。水運では、京都から淀川、三河川(現神崎川)を通じて瀬戸内海へ出る要衝です。陸運では、大坂から中国街道を経て有馬道に入り、伊丹、小浜(宝塚市)そして有馬、その先の城崎(湯嶋)温泉へと至ります。また、神崎から中国街道を西に向かえば、尼崎、西宮、そして西国街道を通り中国九州地方へ進むことができます。

重要拠点であった神崎は、今も当時の宿場町の雰囲気を感じることが出来ます。神崎の渡し付近には、航海の安全を祈念する金比羅さんの石灯籠が現在も保存(着船場に近しい堤防上)にありますが、堤防工事のため移築されています。

(文：原口河川レンジャー)



※地理院地図(https://maps.gsi.go.jp/)の色調を加工し、旧河道、旧街道、渡しの場所などを重ねて作成。



神崎の渡し 金比羅さんの石灯籠



有馬道の道標



原口河川レンジャー

第19回 猪名川クリーン作戦

猪名川クリーン作戦は、流域の活動団体や企業が連携した「猪名川クリーン作戦実行委員会」が主催している猪名川・藻川の一斉清掃活動です。猪名川河川レンジャーも開催に協力しています。「第19回猪名川クリーン作戦」は、2月19日(土)に流域の16ヶ所で開催され、37団体が参加しました。

クリーン作戦についてお話をうかがいました！

猪名川クリーン作戦実行委員会 委員長 佐藤亮さん

■クリーン作戦の目的
猪名川のゴミ拾いを通して猪名川に関心を持ってもらうことで、猪名川・藻川を多様な生き物が棲める自然や清流にする意識を高めてもらうことが目的です。その目的のために流域の住民・企業・行政のネットワーク作りもめざしています。

■これまでの活動について
クリーン作戦は2004年7月に猪名川河川敷の保全と利用を考える円卓会議をきっかけに始まりました。一貫して市民主導のスタイルで、早くから実行委員会形式で取り組み、はや20年目を迎えるようになっていることに意義があると思います。もちろん行政や企業の方の協力があつてのことですが、継続を支えてきたのは流域に住んでいる人々だと思います。



斜面下のゴミを拾う様子



クリーン作戦に集まった方々(猪名川運動公園事務所前)



参加者の集合写真(清和台東 清和苑下)



集められたゴミの一部(桑津橋下)

■今後の活動について
実行委員会への参加団体は少しずつ増えており、特に近年は住民・企業・行政のネットワークが充実してきた感があります。ただ、流域の一般の方々にはまだまだ浸透していないとも感じます。今後は、より広く多くの方に猪名川・藻川に関心を持ってもらえるようなスタイルや仕掛けを考えていく必要があると思っています。

活動報告

防災パネル展示

11月23日(火祝) 尼崎市社協会館で実施

災害発生時にボランティアを派遣・調整する組織「災害ボランティアセンター」の運営演習「尼崎市社会福祉協議会主催」の会場で、志築河川レンジャーが防災のパネル展示を行いました。猪名川河川レンジャーや猪名川河川事務所の防災の取り組みを紹介しました。



防災学習出前講座・WEB(池田小学校)

2月16日(水) WEBで実施

志築河川レンジャーが、池田小学校4年生を対象とした出前講座の講師をつとめました。洪水や土砂災害について図や動画を用いながら説明し、後半では、自宅や浸水危険箇所を地図に書き入れ、洪水時の避難経路を確認しました。



志築河川レンジャーより一言



志築河川レンジャー

初めてのWEB授業。配信が一時不安定になりましたが、その後は順調に進み、子供達はクイズにも大きな声で答えてくれました。使用したパワーポイントも今後授業で使いたいと申し出ていただき、とても嬉しく思いました。皆さんありがとうございました。

伊丹市生物多様性交流フェスティバル

1月19日(水)～2月7日(月) 伊丹市プラタホールで実施

伊丹市で年2回開催されている生物多様性のポスター展に佐藤河川レンジャーが出演しました。昨年の8月に引き続き、「猪名川へ生き物を探しに行こう!」と題して、河川敷の様々な生き物を紹介しました。

佐藤河川レンジャーより一言



佐藤河川レンジャー

2箇所の会場で展示でき、猪名川のPRのお役にたてたと思います。他の団体さんとも協力して猪名川の魅力を伝え、身近な自然空間である川を楽しんでいただきたいです。



猪名川河川レンジャー

Webサイト <http://www.iranger.jp/>

メールアドレス info@iranger.jp

facebook <https://www.facebook.com/InagawaRanger>

facebookでは、猪名川河川レンジャーの活動内容のほか、猪名川で見つけた自然や文化を紹介しています。



Webサイト



facebook

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、Web サイトまたはメールアドレスをご利用いただくか、猪名川河川事務所 工務課までご連絡下さい。



猪名川河川事務所 工務課
池田市上池田2丁目2番39号
TEL:072-751-1111(代表)